

みなさんの声にお答えします

このコーナーでは、いただいたご意見に対する回答の主なものをご紹介します。

ごみの収集や処理は、長浜市・米原市・虎姫町・湖北町・高月町の2市3町で構成する一部事務組合「湖北広域行政事務センター」で行われており、収集回数なども同センターで決められています。
プラスチック製容器包装の収集回数を増やすことは、現在の施設の受け入れ能力や収集作業などに経費がかかることから、すぐに実現することは難しい状

資源ごみ収集回数の増加を
プラスチック製容器包装の収集日(現状月2回)を増やしてほしい。

ご意見受付中
市では、本庁や各支所に設置のご意見箱や、お手紙、Eメールなどで市政に対するご提案を受け付けています。その意見は原則、回答するようにしていますので、お名前などを明記していただきますようにお願いします。
お問合せは、市企画政策課 広報広聴係 ☎6504(入)。

中学生と同じ食材の大きさやメニューでいいのかといったことなどを検討する必要があります。ただ、手づくり弁当にも、食育という点で考えますと、食をいただく喜びを感じ、会話などがはずみ、親子の絆が深められるきっかけになり、心と体の栄養につながります。
今後、このようなことを様々な角度から検討し、子どもたちの健やかな成長を願って取り組んでいきたいと思えます。

地域でのまちづくりに
ついて懇談
5月19日には、田川町のみなさんと懇談しました。
主な意見として、地域のみなさんからは、田根小学区で新たに始まった子どもの見守り活動のような子どもの安全を守る取り組みを市内全域に広げる必要性や、地域に子どもが少なくない現在の現状をふまえ、親が働ける場の創出や少ない児童でも充実した教育を受けられる環境整備についてお話いただきました。

市長と気楽にトーク
一緒にまちづくりを考えましょう
市では、市長がみなさんの生の声を聞いて、その意見を市政に反映させ、懇談を通して市政への理解を得るため、「市長と気楽にトーク」を開催しています。
対象は、市内で自主的な活動を行うグループや団体などで、まちづくりにつながるテーマを設定し、月1回程度開催していきたいと思えます。

また、市長からは、今後、公共サービスは市民が担い、行政をスリム化することが大事で、その大きな役割を担っているのは地域のみなさんであること、また、引き続き、新たな合併を考えていかなければならないことなどの話がありました。
お問合せは、市企画政策課 広報広聴係 ☎6504(入)。

た。さらに、法事のあり方等を見直す生活改善などの取り組みについて、他の自治会と情報交換をしていきたいという話もありました。



幼稚園給食の導入を
栄養バランスのとれた給食は幼稚園児にとって大切で、旧長浜地区の幼稚園にも導入してほしい。
給食は好ききらいなく食べる機会が増え、食べる量も比較的多くなるので、給食を望まれる気持ちはお察しします。
しかし、施設の面で、旧長浜の場合は、幼稚園の分を受け入れる施設や設備がないことや、3、4歳児の発達状況から、小

中学生と同じ食材の大きさやメニューでいいのかといったことなどを検討する必要があります。ただ、手づくり弁当にも、食育という点で考えますと、食をいただく喜びを感じ、会話などがはずみ、親子の絆が深められるきっかけになり、心と体の栄養につながります。
今後、このようなことを様々な角度から検討し、子どもたちの健やかな成長を願って取り組んでいきたいと思えます。



市立長浜病院 創立60周年記念誌を発刊

昭和19年、当時北船町にあった私立病院を買収して発足した市立長浜病院。平成16年の創立60周年を機に、記念誌の編纂を開始し、この度、完成しました。
A4版106ページの記念誌には、開院前や開院直後の病院の様子や、この60年間の主なできごとを写真入りで紹介しているほか、職員数・患者数の推移や年表などの資料、退職者・在籍者からの寄稿を掲載しています。

記念誌から 記念誌に掲載されているものの中から一部抜粋して紹介します。



昭和19年、北船町で開院当時の市立長浜病院。当時、職員は医師、薬剤師、看護師、同見習、事務員を含めて39人だったそうです。



60年という歴史のなかで、病院の移転新築や施設の整備、最新の医療機器の導入などを行ってきた経過のほか、病院に勤務した医師や看護師などの職員の言葉から、地域の中核病院として歩んできた足跡などをまとめています。
なお、この記念誌の販売は、行っていませんので、市立長浜病院のほか、市内と近隣市町の図書館などでご覧いただけます。



看護師のつづりかわり
私立病院時代から現在までの看護師の様子を写真で紹介しています。

喫煙と健康被害

市立長浜病院呼吸器科 安田 順一 先生

喫煙が、多くの疾病の危険因子であることはご存知のことと思います。特に肺がんの一次予防では禁煙が最も重要です。喫煙はまた口腔・喉頭がん、食道がんをはじめとする種々のがん、肺気腫、虚血性心疾患、脳血管疾患、歯周病などの危険因子であり、禁煙により疾病予防が効果的であると考えられます。
「たばこを吸う」行為は、自分だけの問題ではありません。周りの人々がたばこの煙の影響を受けることを「受動喫煙」といいます。受動喫煙による総死亡の危険度は交通事故に比べ、14倍も高率であるといわれています。また、受動喫煙の影響は胎児の時から始まり、胎児の成長(低出生体重児、流産・早産など) 乳幼児突然死症候群、精神神経機能の発達、心肺疾患や小児がんなどとの関連性もいわれています。
たばこを吸っているあなた！禁煙するか、病気で苦しむか、どちらを選びますか？さらに、たばこはあなたの子や孫にも害毒を与えていることを自覚してください。